

切れ味を長く維持するための「はさみのお手入れ」は、正しい使い方や保管が大切です。はさみを用途に合わせて選び、誤った使い方をしないようにしましょう。また、お手入れをすることで切れ味が長持ちします。

○気になる項目をクリックしてください。



## 1. はさみの選び方と使い方・注意

## 2. 使用後のお手入れ（メンテナンス）

## 3. 刃の開閉又は動きが固いと感じた時の対処法

## 4. 保管方法

### 1. はさみの選び方と使い方・注意

#### ①用途に合わせたはさみを選ぶ

○切れ味を最優先した「布専用」のはさみ



布切はさみ「采利(さいり)」  
(24cm)



布切はさみ <NCS-240>  
24cm



布切はさみ「ブラック」  
24cm



パッチワークはさみ  
ボルドー<200>



布切ステンレスはさみ  
SR-240FT

○使い心地を大切にした「糸専用」のはさみ



糸切はさみ「ブラック」  
(黒刃)



パッチワーク糸切はさみ  
ソリ刃 (9cm)



手芸ステンレスはさみ  
「シャープル」<75>

○アップリケやパッチワークに



アップリケはさみ 115  
(11.5cm)



パッチワークはさみ 170  
(17cm)



カットワークはさみ 115

○一般的な細かい作業に

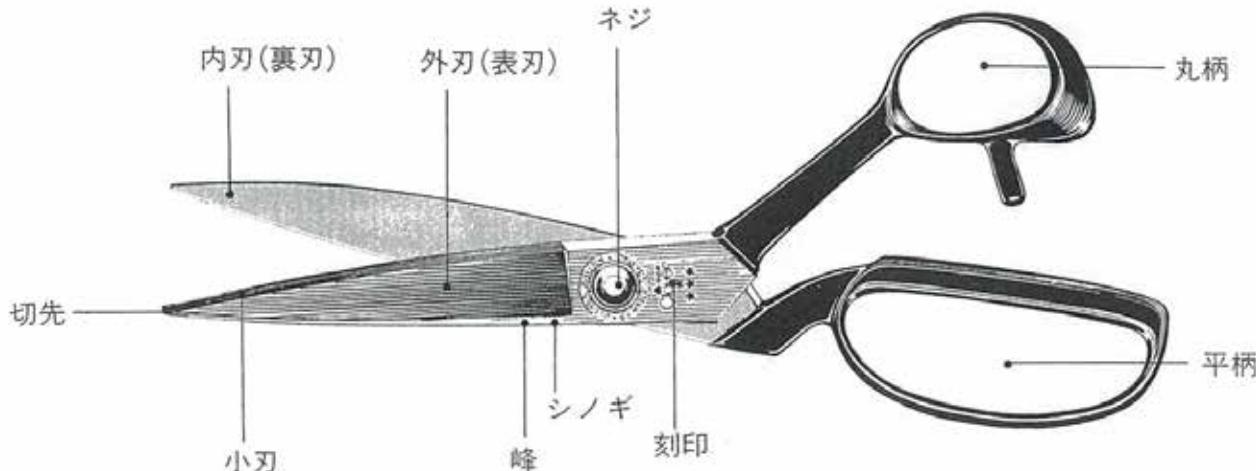


手芸はさみ「ホビー」  
(10.5cm)

## ②はさみを長持ちさせるポイント

- ・布切り専用のはさみは他の素材（紙・革・ナイロンなど）に使用すると切れなくなります。

### 布切はさみの構造、刃先部（内刃、小刃）



## ③重ね切りをできるだけ避ける

- ・刃先部に負荷をかけない使い方をしましょう。切れない場合に内刃間に素材がかみ込み、小刃（切れる部分）の損傷が発生したり、両刃のかみ合わせ具合が変わります。

## ④空切りを避ける

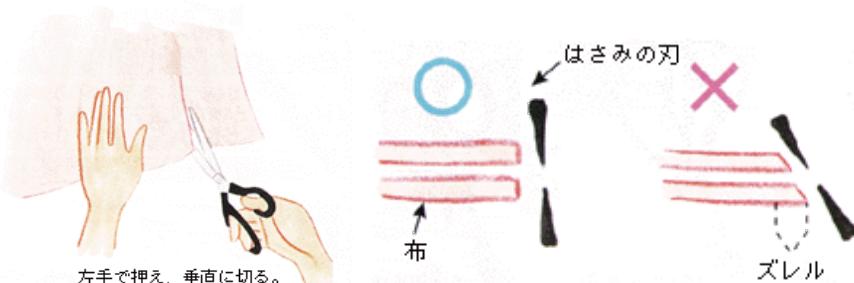
- ・はさみだけで開閉を繰り返すことはないようにしましょう。空切りをすると、小刃同士を傷め合うことになります。

## ⑤乱暴に扱わない

- ・使用中、机上に放り投げたり、床に落としたりしないようにしましょう。  
→刃先の損傷や欠けの発生、刃先のかみ合わせが変わってしまいます。

## ⑥はさみは台につけ、浮かさずに切る

- ・布を切る時は、布をしっかりと押さえ、台に下刃をつけて浮かさないように真っ直ぐ立てて、上刃の重みで切るように手前から向こう側に切ります。



### ⑦はさみの刃部分の使い方

連続して切り進めるときは、刃先まで使って切ると、布の裁断面に段差ができてしまいます。

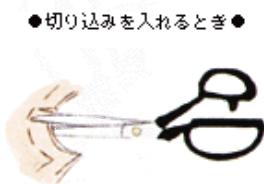
下図を参考にはさみの刃部分の使い方を覚えておきましょう。



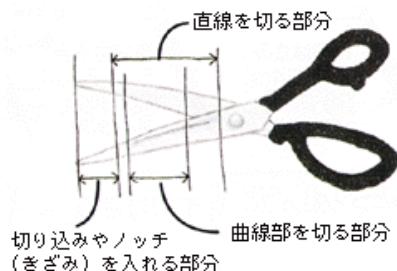
刃は小刻みに動かさず、  
刃の中央を使って大きく  
動かします。



刃の中程を使って滑らか  
に、そして小刻みに動か  
しながら切ります。



刃先を使って慎重に。



### ⑧裂くように切らないようにする

- 刃を開いた状態で布を裂くように切ると、布との摩擦で刃を傷めることになりますので  
御注意ください。

### ⑨分解しない

- 噛み合わせの調整ネジを工具などを使って調整すると切れなくなることがあります。  
研ぎ直す場合は、専門の砥ぎ屋さんに依頼をしてください。

## 2. 使用後のお手入れ

- ミシン油を含ませた端布で刃全体を拭き取り薄く塗布してください。



- 刃に付着した汚れは、ホームミシン油 (37-131) や、はさみクリーナー (39-264) で拭き取ります。



はさみクリーナー



ホームミシン油

### 3. 刃の開閉又は動きが固いと感じた時の対処法

ポンポンを作ったり、パンチニードルのループカット、毛足の長い生地をカットしたり、毛ぼこりが出やすい作業に使用すると、刃の合わさったカシメ部分の隙間に糸くずや埃が入り込んで開閉が固くなるケースがあります。

→はさみを少し開いた状態でミシン油を刃の隙間に1～2滴入れていただき、数回空切りをした後に刃先を下にして半日以上立てておきます。そうすると、刃先に向かって隙間に詰まっていた糸くずや埃が流れ出ますので、刃先に向かって端布などで拭き取ると、開閉の固さが改善することがあります。



### 4. 保管方法

#### ①長期間使用しない場合

ミシン油やはさみクリーナーを使用し、端布などを使って拭いてください。

ホームミシン油（37-131）がおすすめです。

→油の乾燥や固着を防ぎます。

#### ②湿気の多い場所には保管しないでください

サビの原因になる湿気は、はさみの大敵です。

湿気の少ない場所に置き、長い間使わない時は、時々出して手入れしましょう。

→サビの発生を防ぎます。

#### ③刃先を保護しましょう

専用のサックや新聞紙などで刃先を保護してから保管しましょう。